



ADWAYS

May 2018, Presentation Material

株式会社アドウェイズ (東証マザーズ2489)
2018年3月期 決算説明会

2018年5月11日 代表取締役社長 岡村 陽久



目次

1. 通期業績	●.....●	P.2
2. 第4四半期の業績	●.....●	P.14
3. 業績予想及び株主還元	●.....●	P.23
4. 事業概況	●.....●	P.26
5. 補足資料	●.....●	P.44



1. 通期業績



1. 通期業績～連結売上高推移

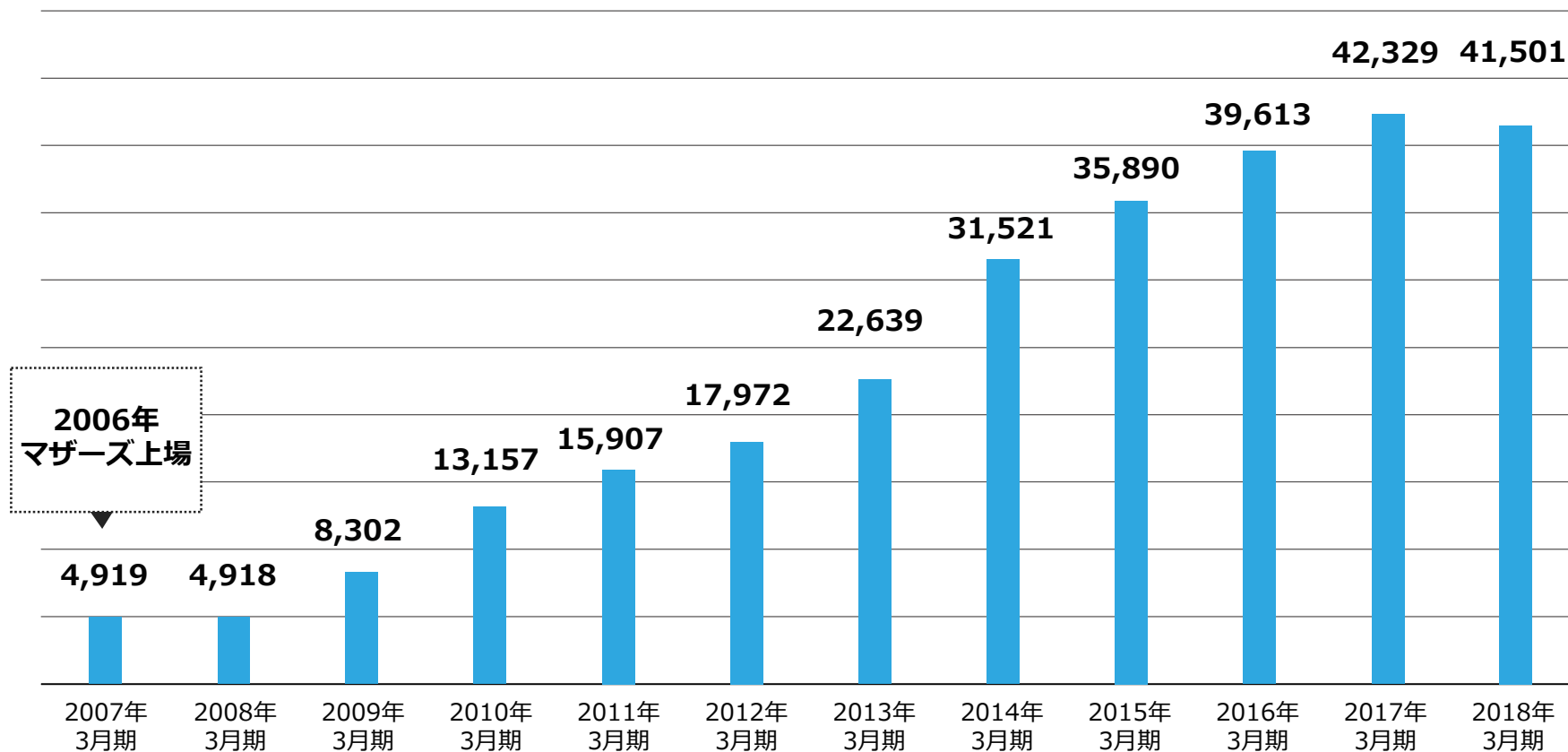
PC／フィーチャーフォン
アフィリエイト事業に注力

スマートフォン広告事業の
開始と拡大

海外への注力

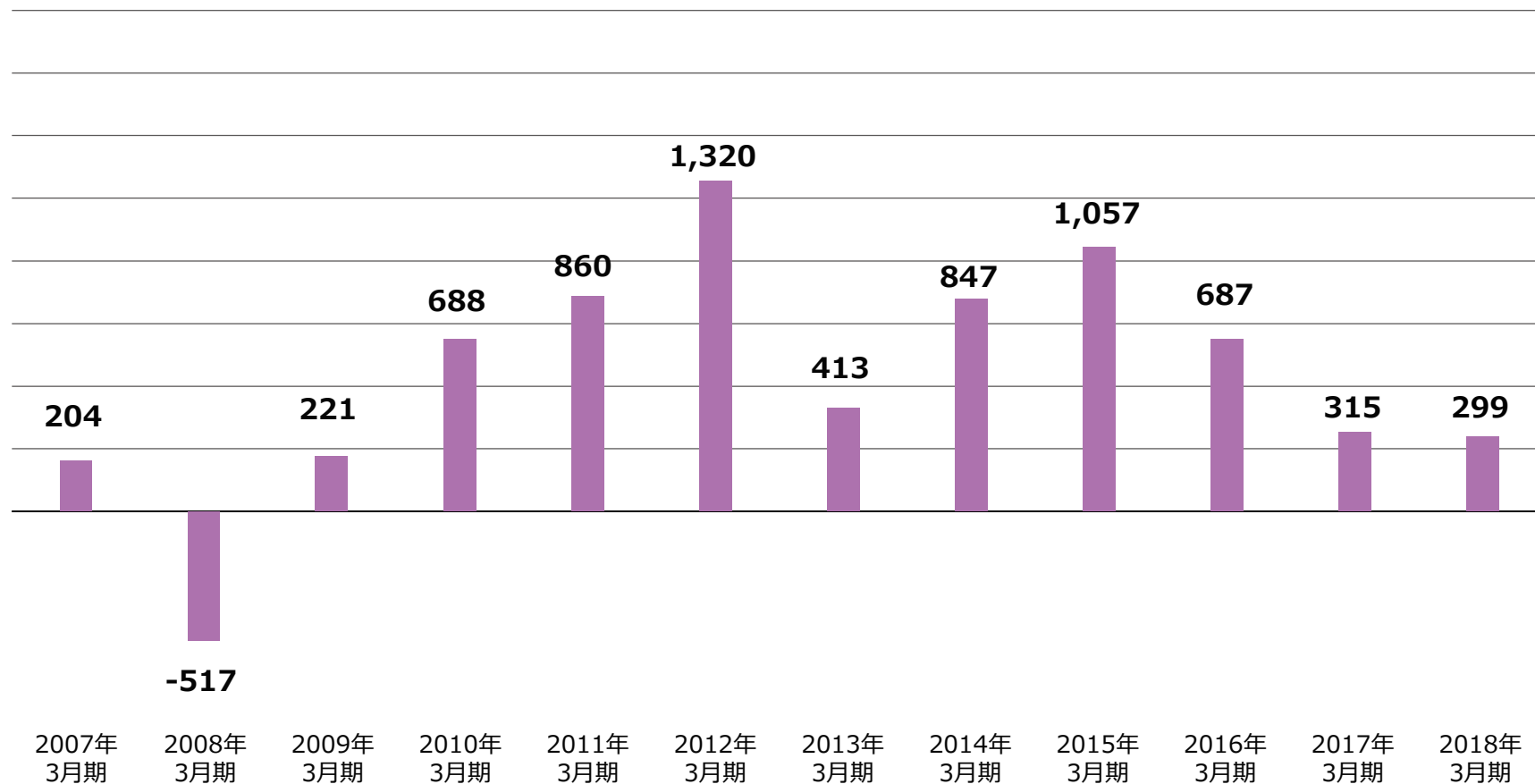
新規プロダクト
への注力

(単位：百万円)



1. 通期業績～連結営業利益推移

(単位：百万円)



1. 通期業績

2018年3月期業績予想と実績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
業績予想	46,000	560	730	220
実績	41,501	299	575	9
達成率※	90.2%	53.5%	78.9%	4.5%

※小数点第2位を四捨五入

1. 通期業績

当期の業績と前期比較

(単位：百万円)

	2018年3月期 累計	前期比 2017年3月期累計		
		実績	増減額	増減率
売上高	41,501	42,329	▲828	▲2.0%
売上総利益	7,173	7,335	▲161	▲2.2%
販管費	6,874	7,019	▲145	▲2.1%
営業利益	299	315	▲16	▲5.2%
経常利益	575	248	+327	+132.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9	▲450	+460	—

売上高

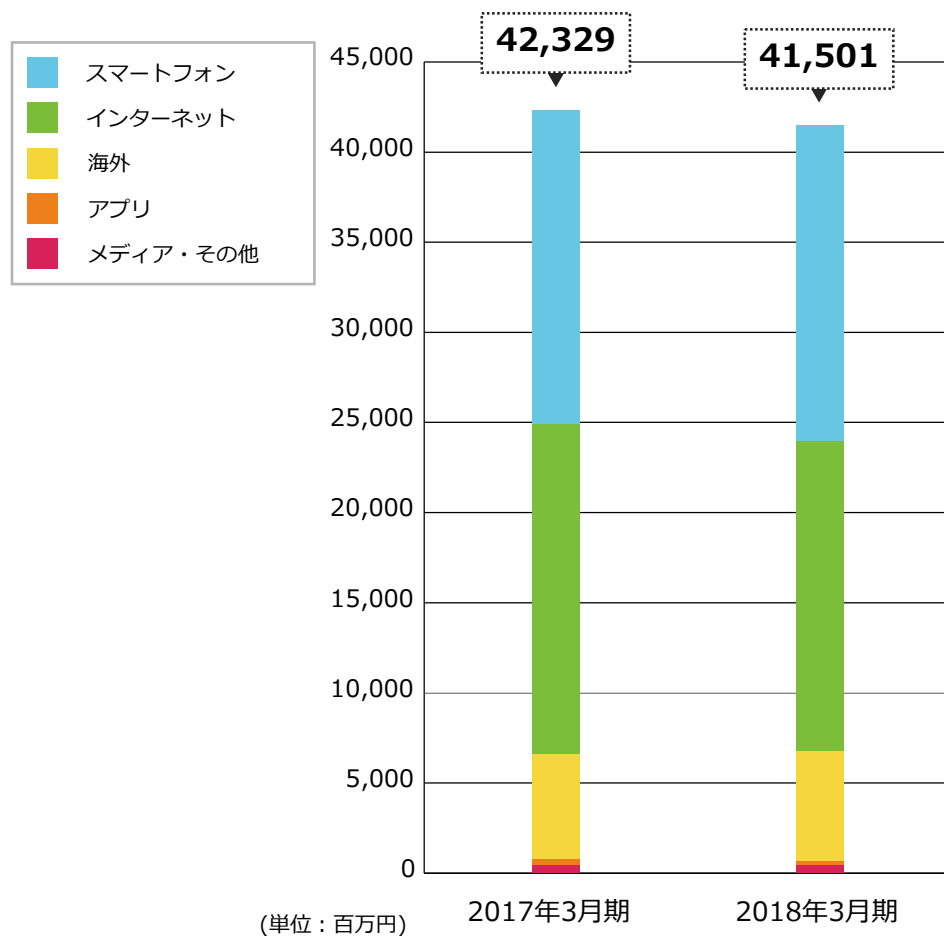
前期比 8億28百万円の減少 (2.0%減)

営業利益

前期比 16百万円の減少 (5.2%減)

1. 通期業績～売上高

売上高の前期比較



国内広告事業

346億84百万円

前期比：10億6百万円減（2.8%減）

スマートフォン（主にアプリ広告）：174億86百万円

前期比：84百万円増（0.5%増）

－第3四半期の大型プロモーション予算縮小による落ち込みおよび訂正による減少があったが、第4四半期で復調し、前期比で増加となった。

インターネット（PCWeb広告およびスマートフォンWeb広告）：171億97百万円

前期比：10億90百万円減（6.0%減）

－第3四半期に発生した金融庁指摘の広告基準および、EC関連広告基準の厳格化による落ち込みが回復し、さらに事業改善のほか新規開拓、社内効率化を行い復調となったが、第3四半期の落ち込みがインパクトし前期比で減少となった。

海外事業

61億17百万円

前期比：2億56百万円増（4.4%増）

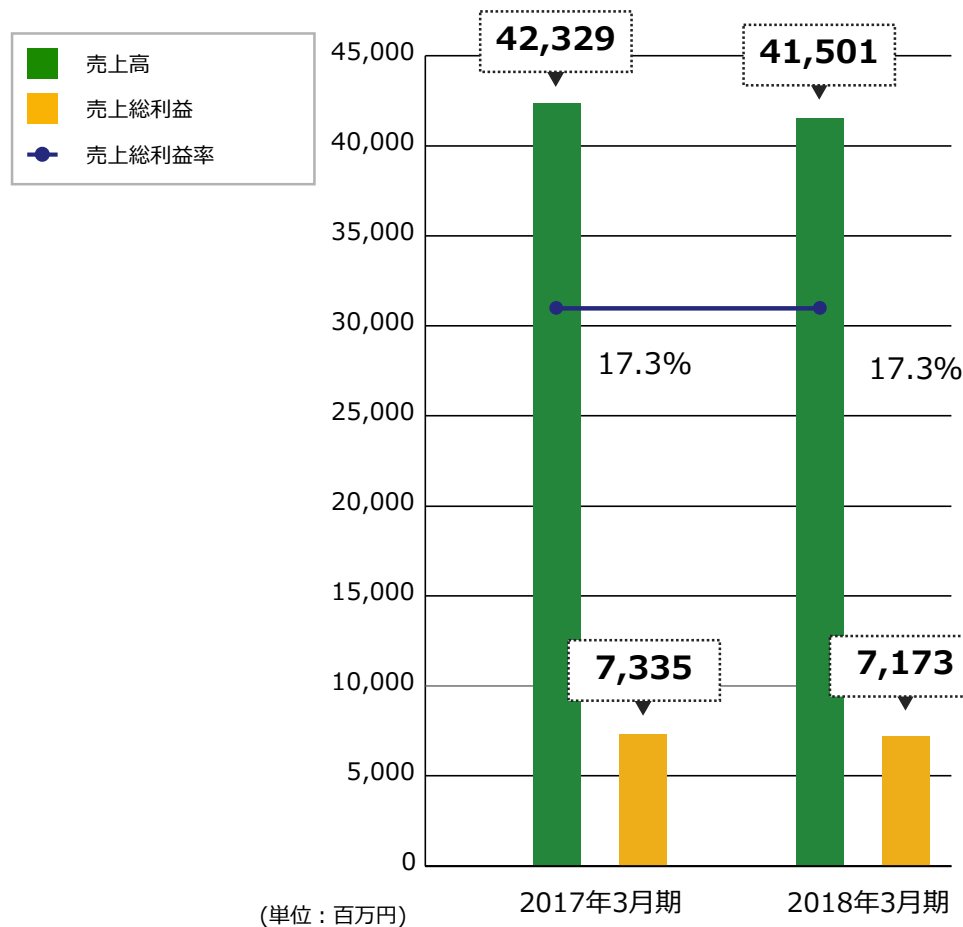
－各拠点ごとの体制再構築と事業効率化推進の結果、通期比で増加となった。

※海外子会社（インド除く）の決算期は12月のため、当社グループにおける2018年3月期の連結決算対象期間は1月～12月となります。

※前期までフィーチャーフォンとスマートフォンの売上を区分しておりましたが、フィーチャーフォン向けの売上高が僅少なため、第1四半期より合算してスマートフォン向け広告としております。

1. 通期業績～売上総利益

売上総利益の前期比較



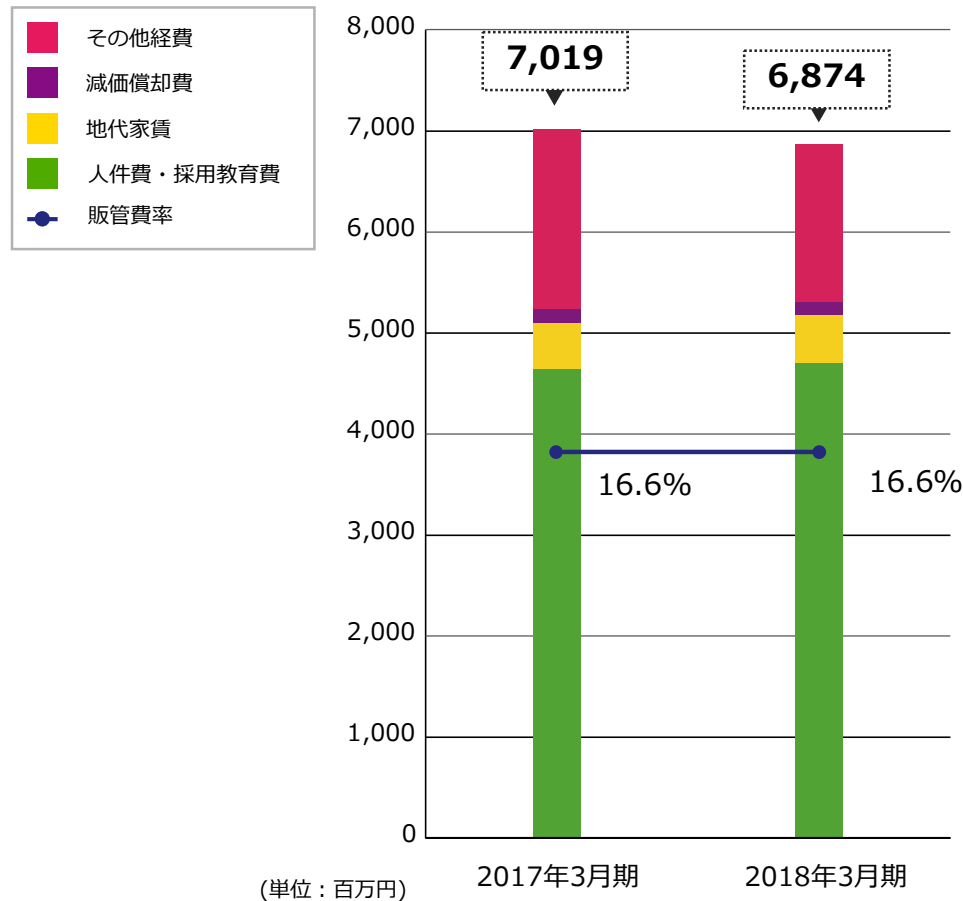
当期売上総利益：71億73百万円

前期比：1億61百万円減（2.2%減）

売上総利益率：17.3%

1. 通期業績～販管費

販管費の前期比較



当期販管費：68億74百万円

前期比：1億45百万円減（2.1%減）

販管費率：16.6%

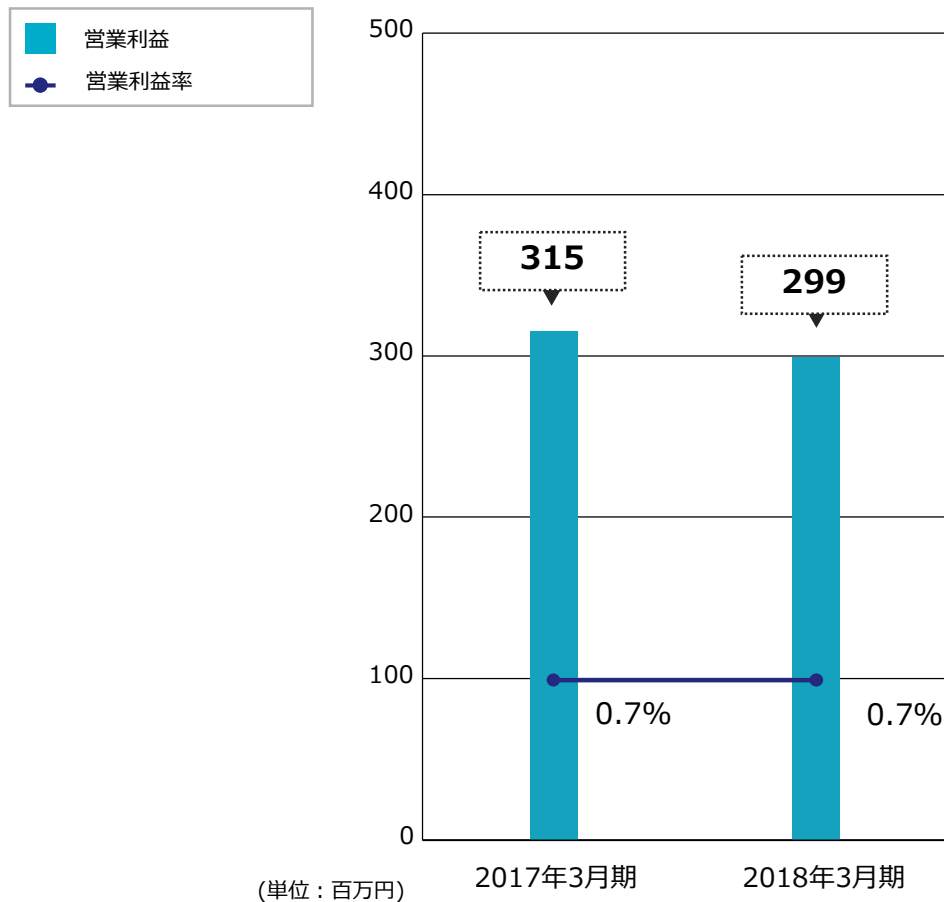
【主な減少要因】

- ・ 人件費：約59百万円増
- ・ 外注費：約95百万円減
- ・ 研究開発費：約83百万円減

海外拠点の営業体制整備により人件費・外注費等を抑制

1. 通期業績～営業利益

営業利益の前期比較



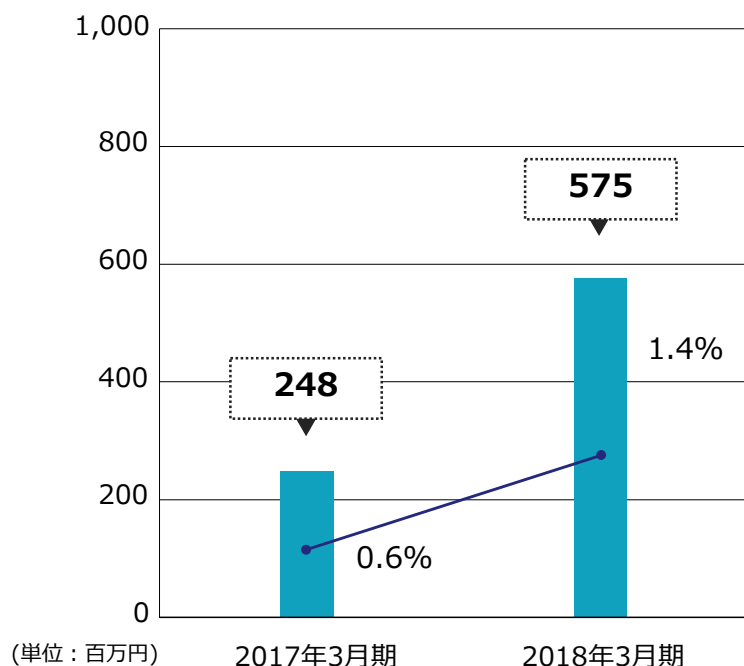
当期営業利益：2億99百万円

前期比：16百万円減（5.2%減）

営業利益率：0.7%

1. 通期業績～経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

経常利益の前期比較

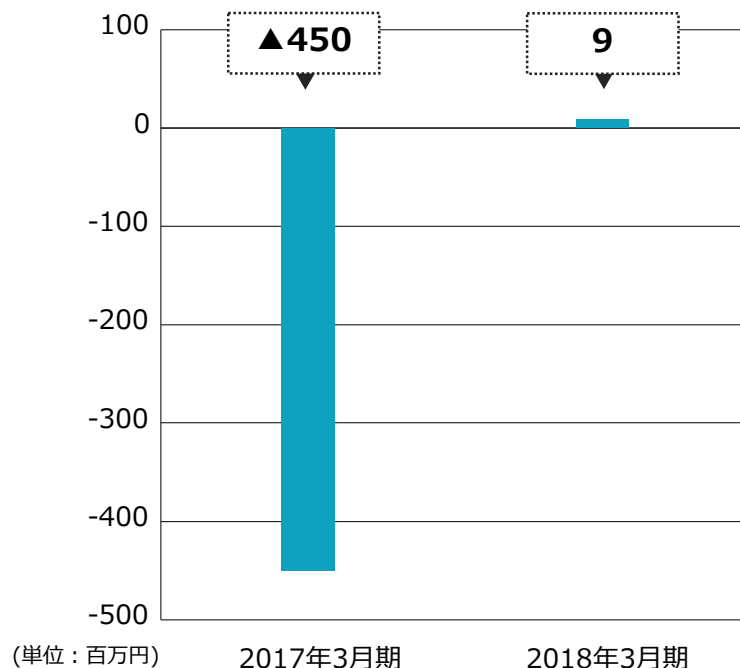


当期経常利益：5億75百万円

前期比：3億27百万円増（132.0%増）

経常利益率：1.4%（0.8ポイント増）

親会社株主に帰属する 当期純利益の前期比較

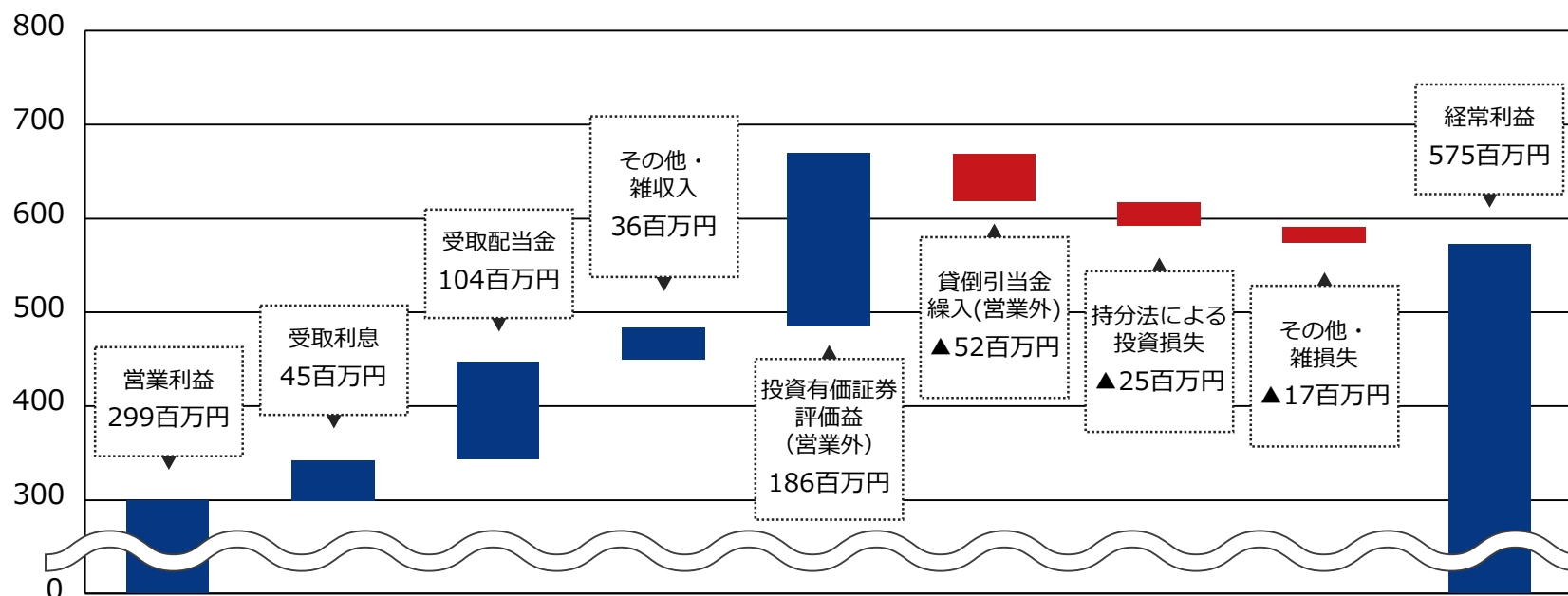


**親会社株主に帰属する当期純利益：
9百万円**

前期比：4億60百万円増（－）

1. 通期業績～営業利益・経常利益

経常利益の推移

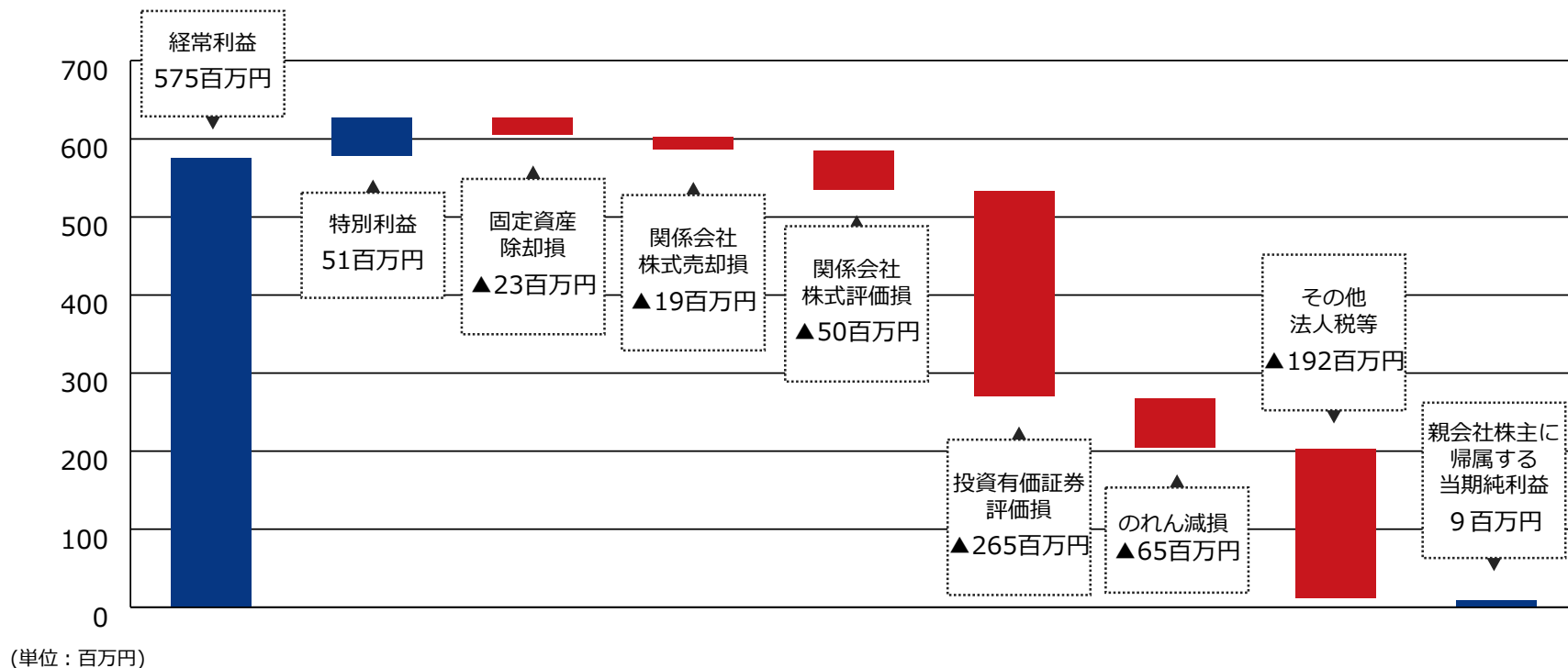


(単位：百万円)

受取利息[45百万円]
受取配当金[104百万円]
その他・雑収入[36百万円]
投資有価証券評価益(営業外)[186百万円]
貸倒引当金繰入(営業外)[▲52百万円]
持分法による投資損失[▲25百万円]
その他・雑損失[▲17百万円]

1. 通期業績～経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する純利益の推移



特別利益（投資有価証券売却益/関係会社株式売却益）[51百万円]

固定資産除却損[▲23百万円]

関係会社株式売却損[▲19百万円]

関係会社株式評価損[▲50百万円]

投資有価証券評価損[▲265百万円]銘柄数（35社）

のれん減損[▲65百万円]

その他法人税等[▲192百万円]：うち本社法人税分▲93百万円



2. 第4四半期の業績

2. 第4四半期の業績

【四半期】 当四半期の業績と前年同四半期・前四半期比較

(単位：百万円)

	2018年3月期 第4四半期	前年同四半期比 2017年3月期第4四半期			前四半期比 2018年3月期第3四半期		
		実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
売上高	11,169	11,714	▲545	▲4.7%	9,070	+2,098	+23.1%
売上総利益	1,837	2,123	▲285	▲13.4%	1,567	+270	+17.3%
販管費	1,749	1,965	▲216	▲11.0%	1,733	+16	+1.0%
営業利益	88	157	▲69	▲44.0%	▲165	+254	—
経常利益	371	128	243	+189.4%	▲191	+563	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	225	▲199	424	—	▲211	+436	—

売上高

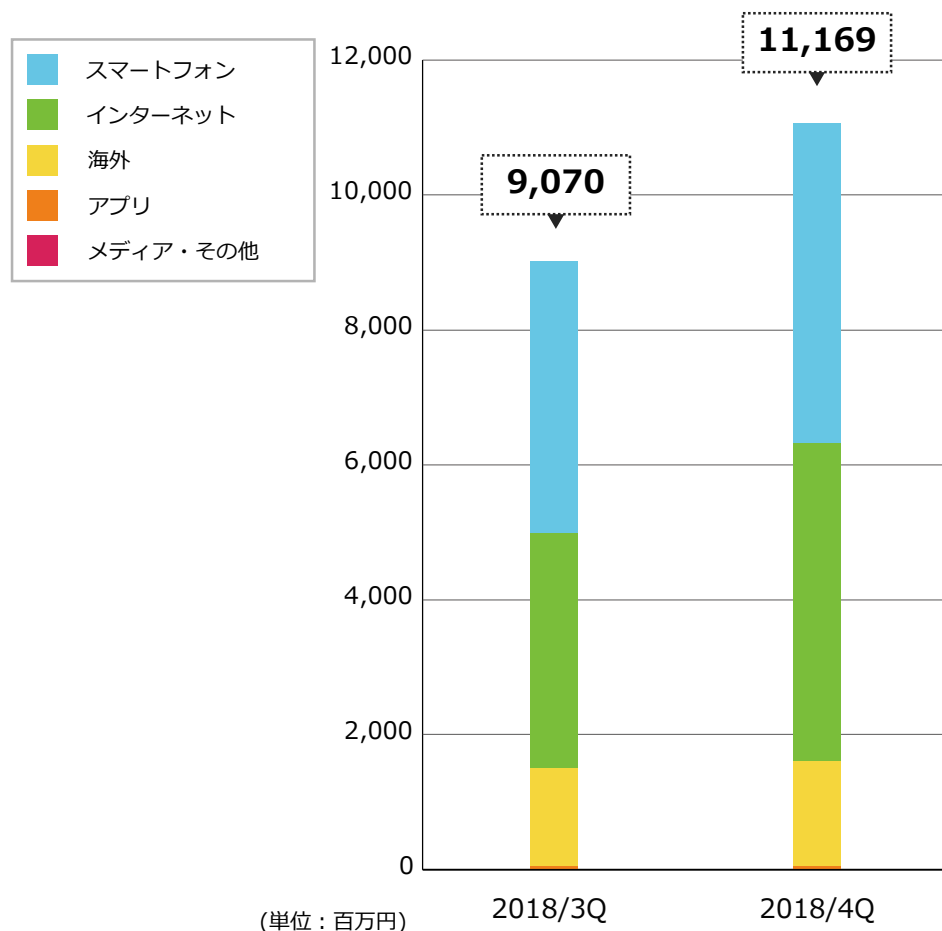
前年同四半期比 5億45百万円の減少 (4.7%減)
前四半期比 20億98百万円の増加 (23.1%増)

営業利益

前年同四半期比 69百万円の減少 (44.0%減)
前四半期比 2億54百万円の増加 (—)

2. 第4四半期の業績～売上高

売上高の前四半期比較



国内広告事業 94億45百万円

前四半期比：20億5百万円増（27.0%増）

スマートフォン（主にアプリ広告）：47億39百万円

前四半期比：7億6百万円増（17.5%増）

－第3四半期は大型プロモーション予算縮小による落ち込みがあったが、第4四半期で復調となった。

インターネット（PCWeb広告およびスマートフォンWeb広告）：47億6百万円

前四半期比：12億98百万円増（38.1%増）

－第3四半期に発生した金融庁指摘の広告基準および、EC関連広告基準の厳格化による落ち込みが回復し、さらに事業改善のほか新規開拓、社内効率化を行い復調となった。

海外事業 15億51百万円

前四半期比：1億2百万円増（7.0%増）

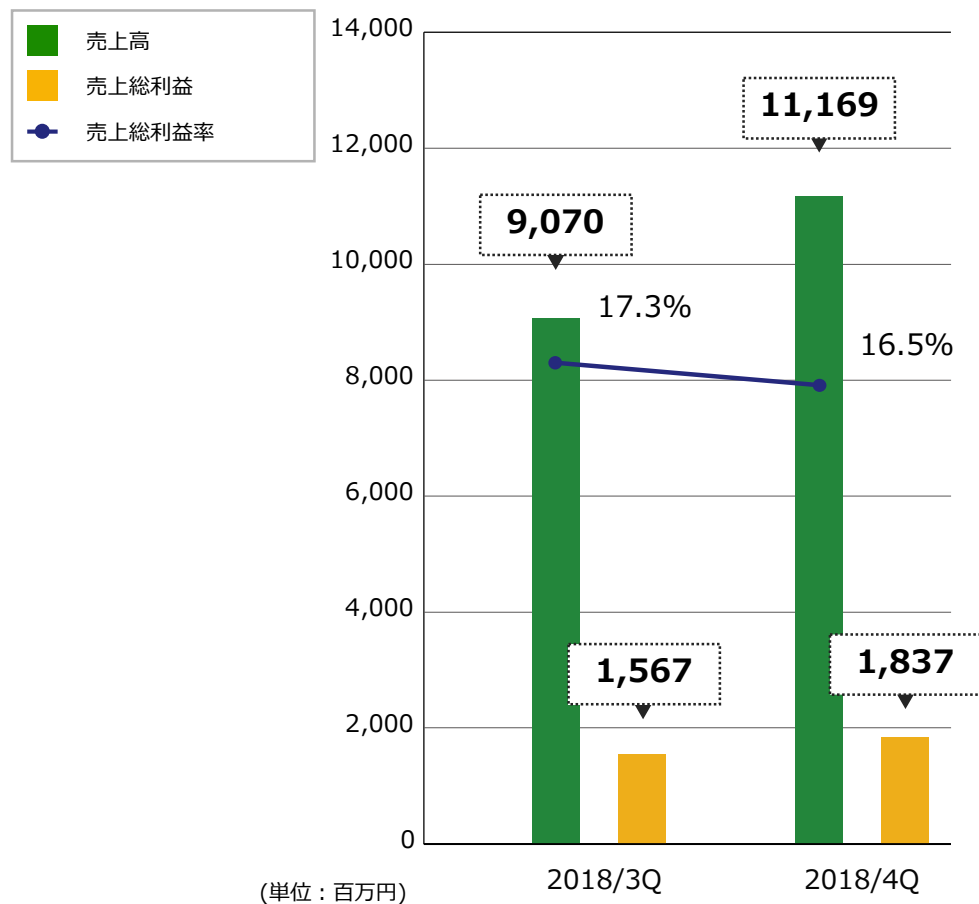
－中国事業（スマートフォン向け広告、EC事業、日系企業向け代理業）が好調

※海外子会社（インド除く）の決算期は12月のため、当社グループにおける2018年3月期第4四半期の連結決算対象期間は10月～12月となります。

※前期までフィーチャーフォンとスマートフォンの売上を区分しておりましたが、フィーチャーフォン向けの売上高が僅少なため、第1四半期より合算してスマートフォン向け広告としております。

2. 第4四半期の業績～売上総利益

売上総利益の前四半期比較



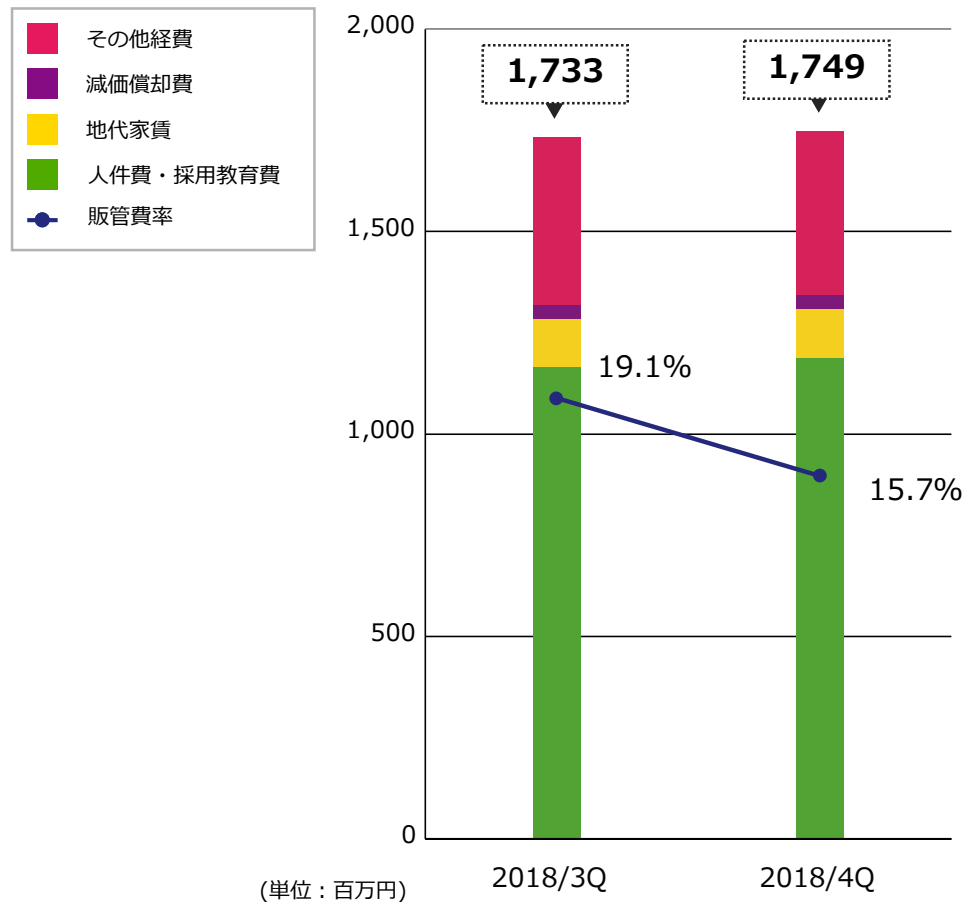
当四半期売上総利益：18億37百万円

前四半期比：2億70百万円増（17.3%増）

売上総利益率：16.5%（0.8ポイント減）

2. 第4四半期の業績～販管費

販管費の前四半期比較



当四半期販管費：17億49百万円

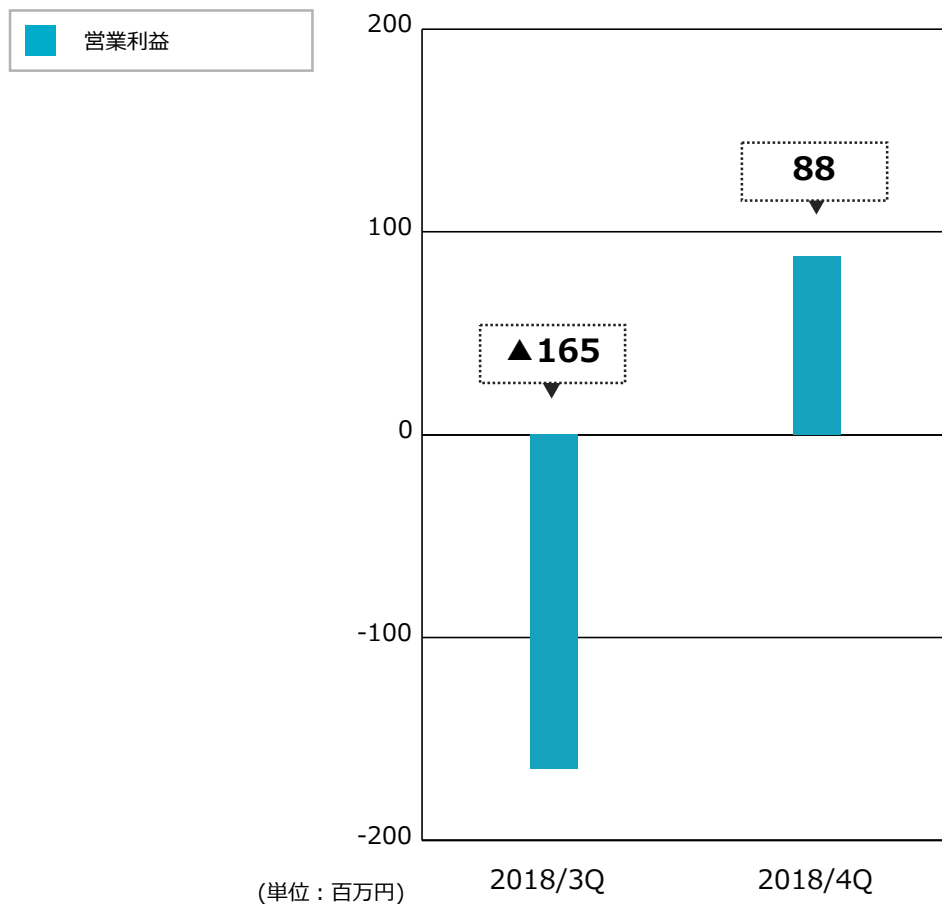
前四半期比：16百万円増（1.0%増）
販管費率：15.7%（3.4ポイント減）

【主な増加要因】

- ・人件費：約23百万円増
－うち採用教育費：約14百万円増
- ・支払手数料：約9百万円増
- ・貸倒損失：約19百万円減

2. 第4四半期の業績～営業利益

営業利益の前四半期比較



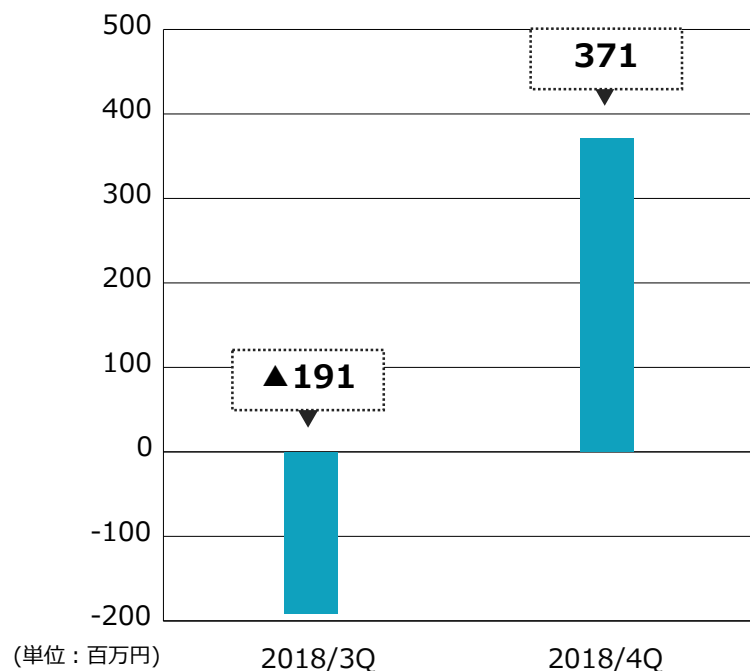
当四半期営業利益：88百万円

前四半期比：2億54百万円増（－％）

売上総利益が増加し、販管費率減少のためプラスヘインパクト

2. 第4四半期の業績～経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

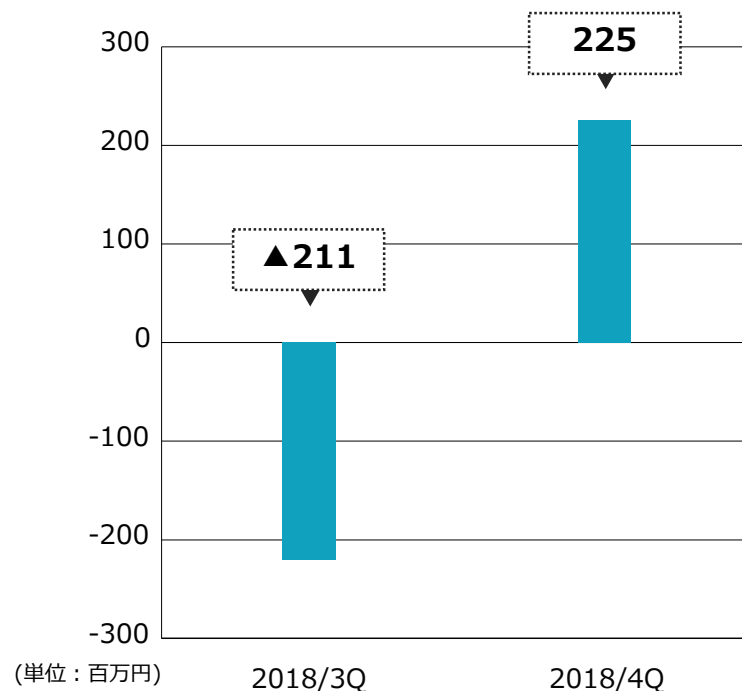
経常利益の前四半期比較



当四半期経常利益：3億71百万円

前四半期比：5億63百万円増（－％）

親会社株主に帰属する 四半期純利益の前四半期比較

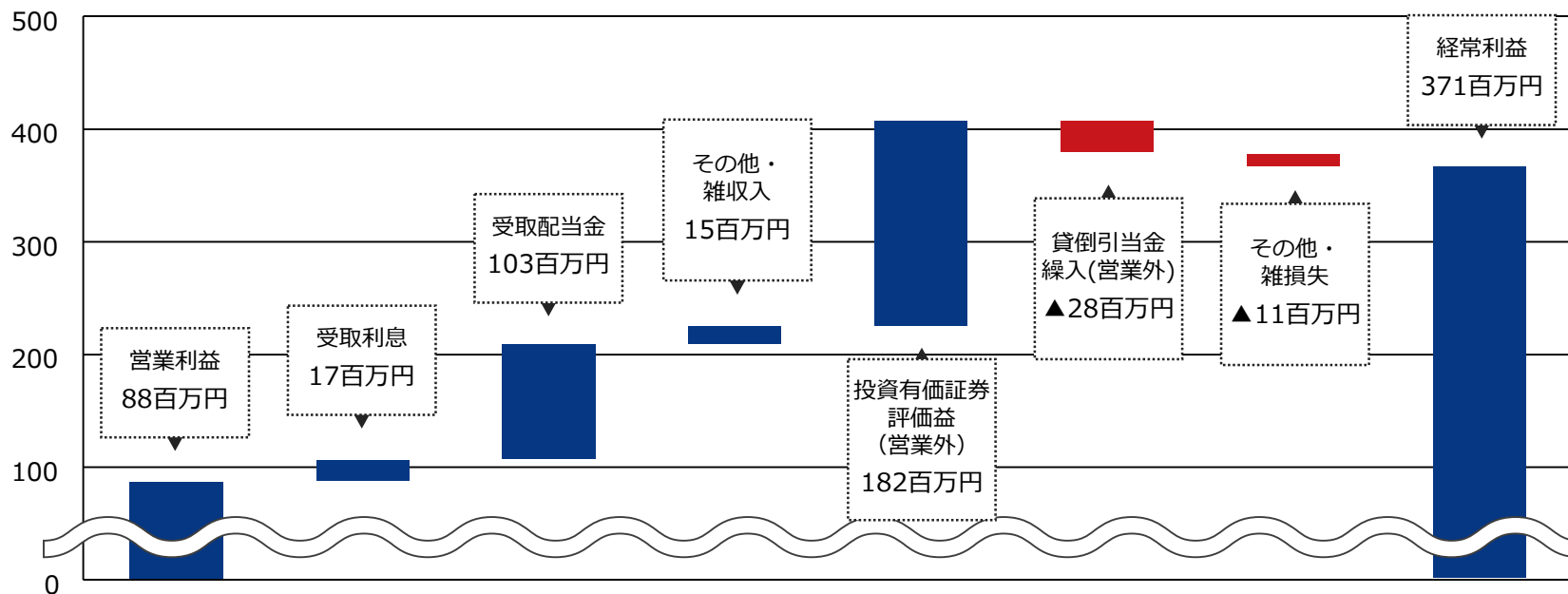


**親会社株主に帰属する当四半期純利益：
2億25百万円**

前四半期比：4億36百万円増（－％）

2. 第4四半期の業績～営業利益・経常利益

経常利益の推移

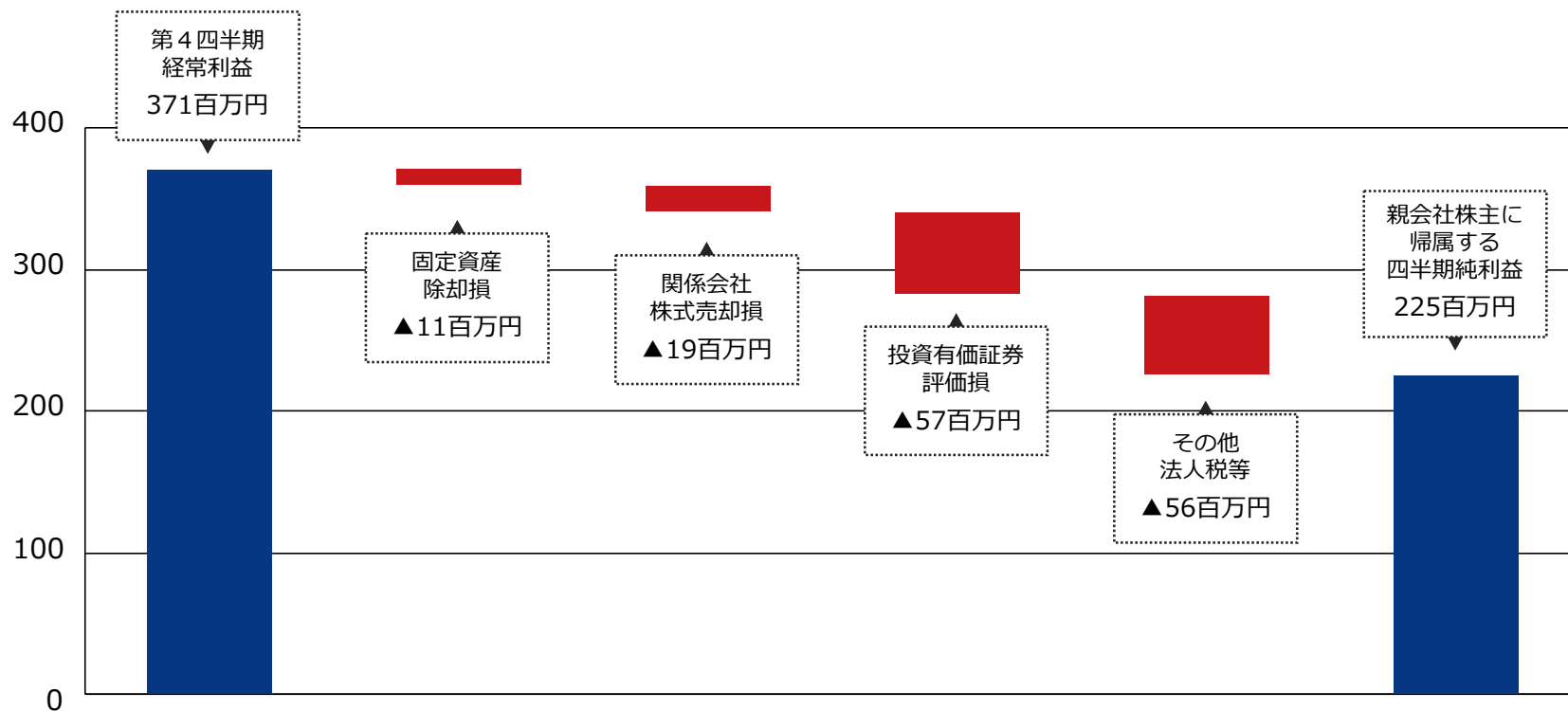


(単位：百万円)

受取利息[17百万円]
受取配当金[103百万円]
その他・雑収入[15百万円]
投資有価証券評価益(営業外)ファンドの運用益[182百万円]
貸倒引当金繰入(営業外)[▲28百万円]
その他・雑損失[▲11百万円]

2. 第4四半期の業績～経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益の推移



(単位：百万円)

固定資産除却損[▲11百万円]
関係会社株式売却損[▲19百万円]
投資有価証券評価損[▲57百万円]銘柄数(11社)
その他法人税等[▲56百万円]：うち本社法人税分▲22百万円



3.業績予想及び株主還元

3. 業績予想及び株主還元

2019年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2019年3月期 業績予想	42,000	500	500	190
2018年3月期実績	41,501	299	575	9
2018年3月期 実績比	+1.2%	+67.0%	▲13.2%	+1804.3%

※少数点第2位を四捨五入

3. 業績予想及び株主還元

【2018年3月期 期末配当】

1株当たり **2円35銭**

【配当方針】

株主の皆様への継続的な利益還元及び企業価値の向上を重要課題と認識し、諸施策を実施してまいります。配当につきましては、前々期（2016年3月期）からの3カ年は第1期を除く当社事業年度を基準とした配当性向（今期は第18期である為17%）より算出される1株当たりの金額、もしくは1株当たり2円35銭（2015年3月期普通配当実績）のどちらか高い方を目処といたします。

【次期以降の配当方針（2019年3月期～2021年3月期）】

第19期 (2019年3月期)	第20期 (2020年3月期)	第21期 (2021年3月期)
配当性向18% もしくは 1株当たり2円40銭 の高い方	配当性向19% もしくは 1株当たり2円50銭 の高い方	配当性向20% もしくは 1株当たり2円60銭 の高い方

次期以降の3カ年（2019年3月期～2021年3月期）の配当につきましては、上記の通り第1期を除く当社事業年度を基準とした配当性向（次期は第19期である為18%）より算出される1株当たりの金額、もしくは1株当たり配当金2円40銭を基準に每期10銭を増配した1株当たり配当金のどちらか高い方を目途といたします。

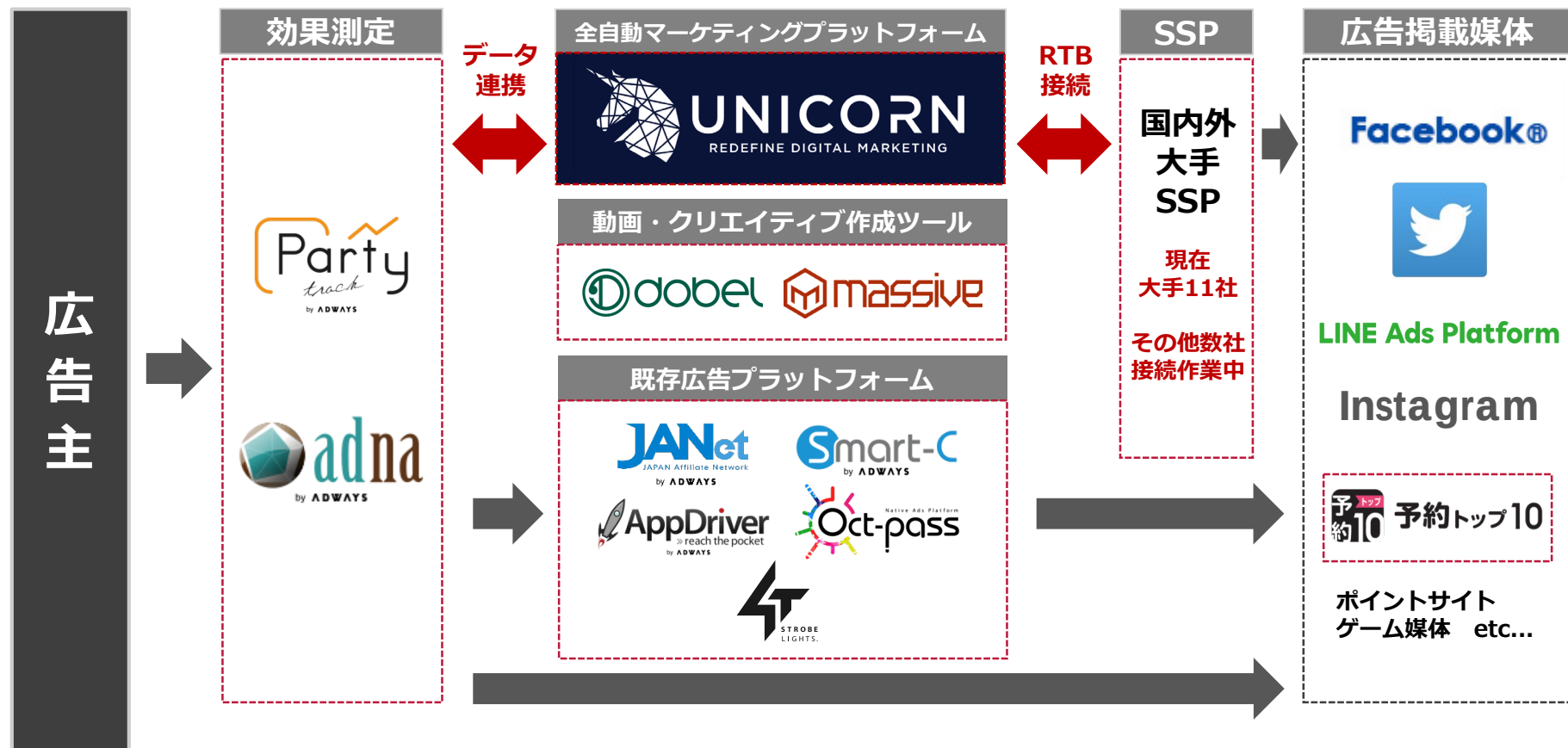
※ただし、大きな業績の変動や大規模なM & A等の経営環境等の変化によって、配当方針を変更する可能性があることにご留意ください。



4. 事業概況

3. 事業概況～App Marketing

“Platform&Borderless”



新プロダクトの開発、既存サービスの改良へ注力。



UNICORN

REDEFINE DIGITAL MARKETING



Simple Set Up

5つの設定のみで出稿可能。
リスク判断やクリエイティブ訴求に
集中できる。

the Perfect Combination

配信する上で、最適なクリエイティブ
の組み合わせを提示しつつ最適な価格
で買い付ける。

Full Automated Marketing Platform

100%自動化された出稿最適化エンジン。
インプレッションの価値を一つずつ予測し、
価値にあった広告案件を表示。

Fraud Protection

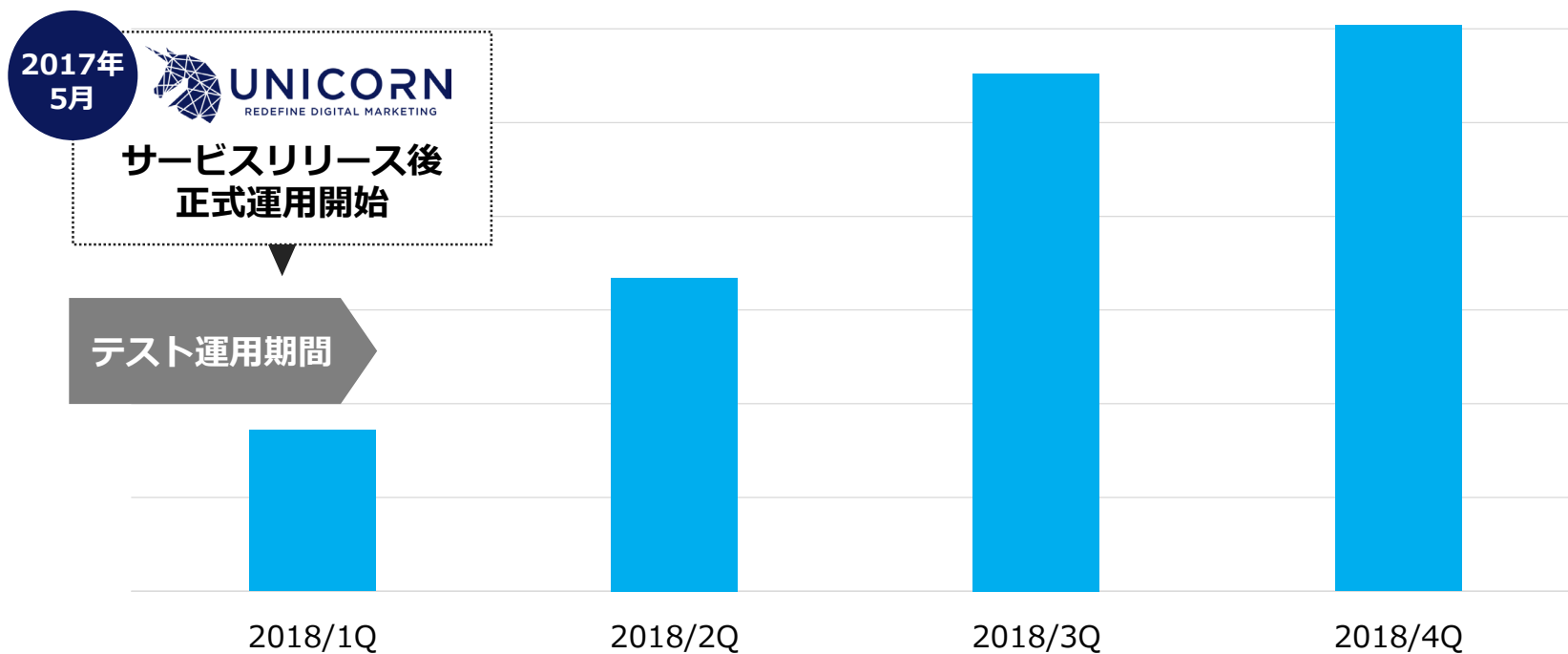
独自の不正検出アルゴリズムで不正な
アクセスやプレイスメントを除外。

Our Unique Technology

30以上の判断項目を基準に、毎秒10
万以上のインプレッション価値を予
測。

3. 事業概況～App Marketing

UNICORN 売上高 推移



機械学習精度も順調に向上し、
前四半期比で**利益も2倍程度増加**

3. 事業概況～App Marketing

UNICORN経由での獲得ユーザーの ROAS※（広告費用対効果）数値



平均68%

（前四半期数値:54.2%）

主要取り扱い
ネットワーク4社

平均42%

（前四半期数値:40.0%）

（2018年3月獲得ユーザーの当月中の課金額と広告費より算出）

主要取り扱いネットワークに比べ
さらに高い広告パフォーマンスを実現。

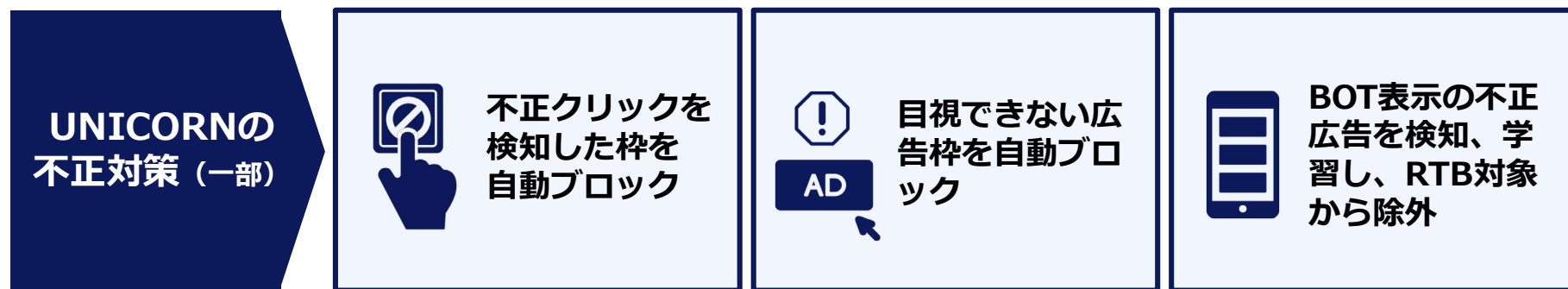
※ROAS(Return On Advertising Spend)
投下した広告費に対して得られた利益の割合のこと。広告の費用対効果。

3. 事業概況～App Marketing

ROAS向上を実現するアドフraud（広告詐欺） 対応施策



不正被害による無駄コスト増加で、
広告主は収益に大きな影響を受けている



ユーザー獲得数や安価での獲得のみを追わない不正対応施策で
高パフォーマンスユーザー獲得を目指す。

3. 事業概況～App Marketing

UNICORN最大の特徴は理想的な “人エール”と“機械学習”のハイブリッドアルゴリズム

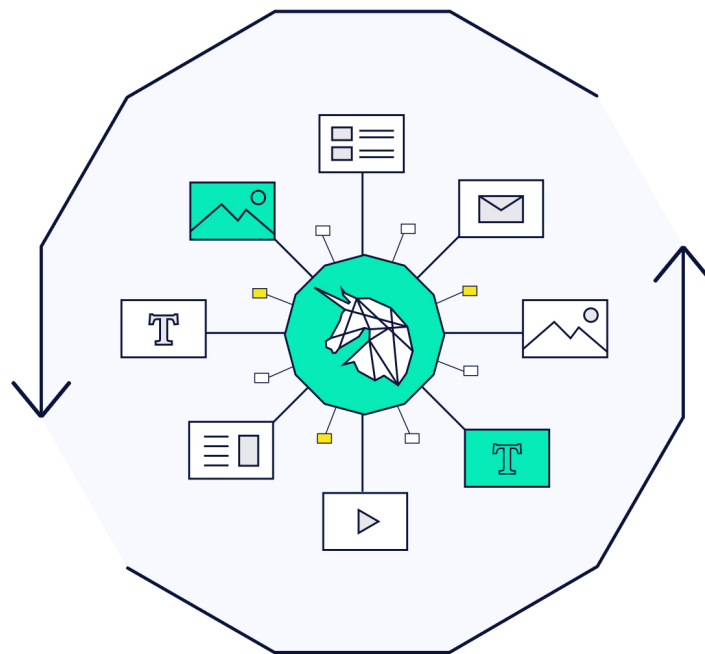


人エール

(人にしか出来ない業務)

- ・ 閾値※ベースの媒体精査
- ・ 残予算状況に合わせた配信ペースコントロール
- ・ キャンペーンごとにカスタマイズされた初期学習向け配信

※閾値：より効果的な学習をすすめるための動作を決めていくチューニング値



機械学習

- ・ 人間以上の解析・最適化
- ・ 100%完全自動化による圧倒的なスピード感
- ・ ターゲットに合わせた自動買付け

UNICORNだけが可能な広告運用アルゴリズム。

3. 事業概況～App Marketing

その結果、UNICORNは
継続して高いARPU※ユーザー獲得を実現

- ・ 抽出対象はゲームアプリ
- ・ 数値抽出期間:
2018年3月1日～3月30日

	UNICORN経由 獲得ユーザーARPU	オーガニックユーザー ARPU
獲得件数 上位5案件	846.53円	607.09円

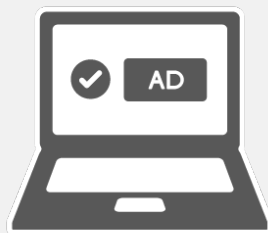
当社が追及する、
より本質的な正しい広告からの獲得ユーザーは、
オーガニックユーザーと同等以上のARPU結果に。

※ARPU(Average Revenue Per User)
1ユーザーあたりの平均収益。

3. 事業概況～App Marketing

市場の必要性を取り込んだサービス内容の追加

1. 事前登録対応の開始



リリース前より大規模プロモーション展開を行うクライアントの増加を反映し、事前登録プロモーション対応を開始。
リリース前より広告効果最大化を目指しています。

2. リエンゲージメント※対応



新規ユーザー獲得だけでなく、スリープユーザーのアプリ再来、また離脱抑制広告においても注力ユーザーと位置付け、施策を実行。アドフラウド対策を経て獲得した高パフォーマンスユーザーならではの費用対効果の高いプロモーションが可能に。

※ユーザーエンゲージメントをキープし続けるための配信対応。
既存のターゲティング配信（リターゲティング）とは違う概念。

**広告配信対象が、
オーガニックユーザー以上のARPU数値のユーザーのため、
既存サービスに加えさらに高い広告成果を実現。**

3. 事業概況～App Marketing

UNICORN事業の今後の展望

接続SSP進捗状況

(2018年3月末現在)

国内主要SSP：**9社**

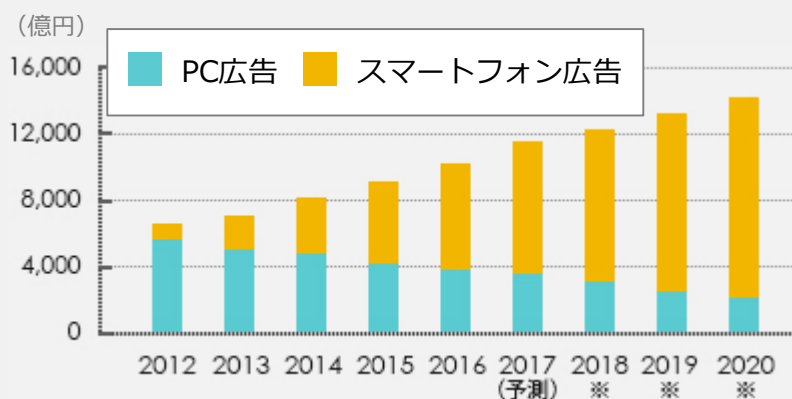
海外主要SSP：**2社**

月間広告在庫量が
2,750億impを突破

引き続き複数SSPとの接続予定中！

今後一層進む スマートフォンシフト

スマートフォン広告費とPC広告費の市場規模



参考：2016年インターネット広告市場規模推計調査～D2C/CCIが独自推計
※2018年～2020年は参考数値を元に同水準で推移した場合の当社推定値

**接続先SSPの拡大、スマートフォン広告市場拡大、
UNICORNだけの世界最先端クオリティでGlobalを視野に拡大。**



UNICORN

REDEFINE DIGITAL MARKETING

我々は、“正しい” 広告と向き合います。
人には、より人らしい仕事を。
人には出来ないことを、UNICORNで。

3. 事業概況～Global Marketing

“Platform&Borderless”

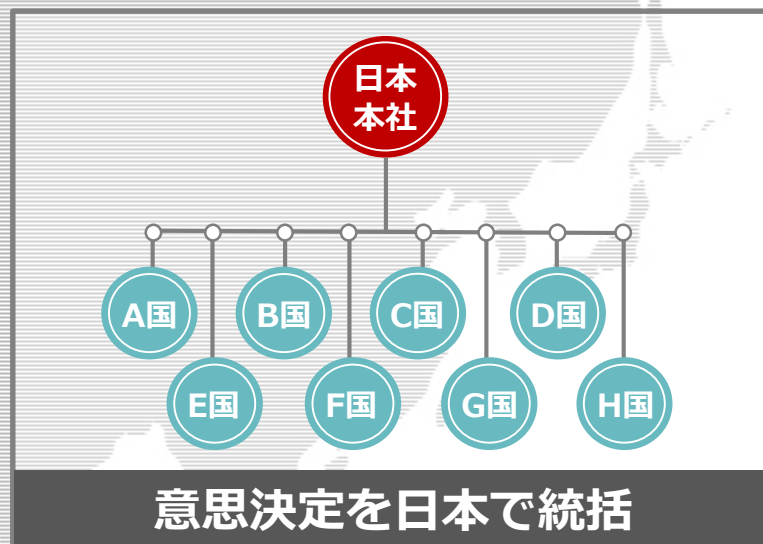
東アジア・インドを中心に
引き続き海外マーケットへ注力



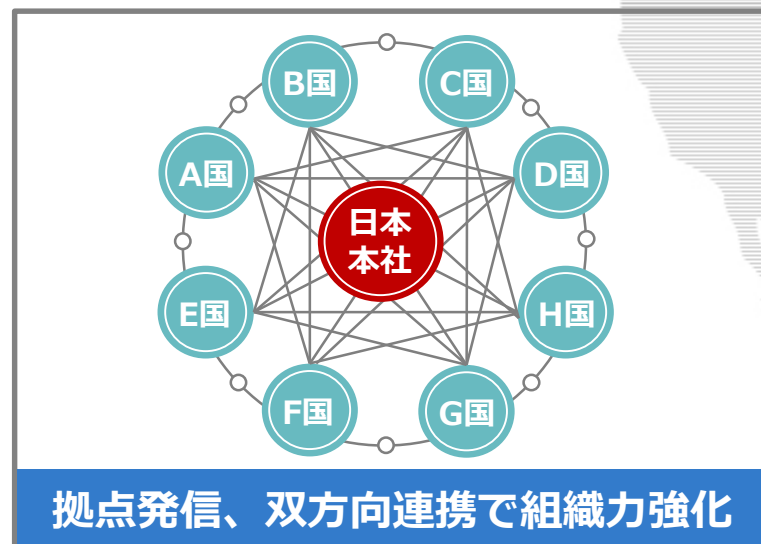
3. 事業概況～今後の海外事業展望について

海外市場の拡大、競争環境の激化・変化は著しく、
海外拠点側での事業判断の重要性は、今後さらに増していく

【現在】



【今後】



世界中のクライアントにとってベストなサービス提案を可能にし、
スピード感ある事業判断をするため
新たなグローバル体制へシフト。

3. 事業概況

最新プレスリリース

【2018.3.19】

「PartyTrack」、Yahoo! JAPANの
「効果測定 推奨パートナー(Measurement
Preferred Partner)」に認定



Yahoo! JAPANの広告運用支援制度「Preferred Partner Program(プリファード・パートナー・プログラム)」において、Yahoo! JAPANにおける広告効果の可視化や分析、その後のプランニングに役立てられる効果測定レポートを提供できるパートナーとして認定。

Yahoo! JAPANのサービスを活用する企業の広告出稿及びマーケティング支援を強化

【2018.3.26】

「PartyTrack」、
「Google Play Referrer API」に対応



これにより、ユーザーが広告からGoogle Play Storeへ遷移した時間および、アプリインストールが開始された時間のデータ等を取得することが出来るようになり、クリック、インストールのより正確な成果判定が可能に。

**さらに「PartyTrack」は
アドフラウド対策における機能開発
を順次リリース予定**

3. 事業概況

データ（Nint）事業について

アドウェイズグループにおいてECデータ事業(サービス名：Nintほか)を運営しておりましたADWAYS TECHNOLOGY LTD. (香港)社は、下記理由により、4月3日にMBO※が行われ、当社グループの持分法適用会社となりました。

【理由】

- ・グループ内で他事業間とのシナジーが希薄であること。
- ・ECサイトデータ収集率が低下していること。



**データ事業の可能性は今後も成長が見込まれるものの、
当社主要事業である広告分野との関連性が希薄であるため、
“選択と集中”という判断により、広告体制強化を図ることにしました。**

※Management Buy Out



Beyond Everything Internet

インターネットの全てを越えていく

はい、すげー
みんなの初めて



本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確かさ、その他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2018年5月11日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。

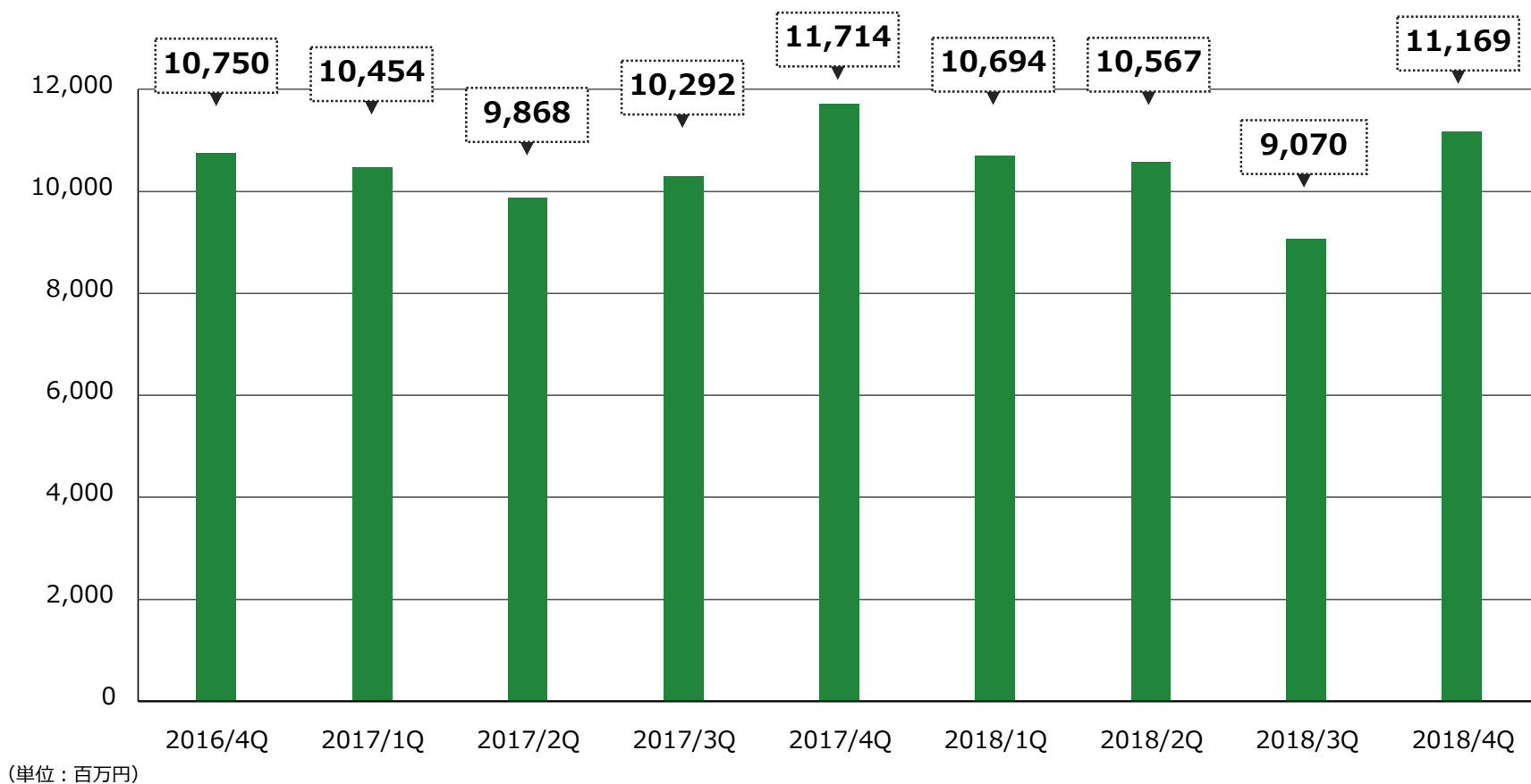


5. 補足資料



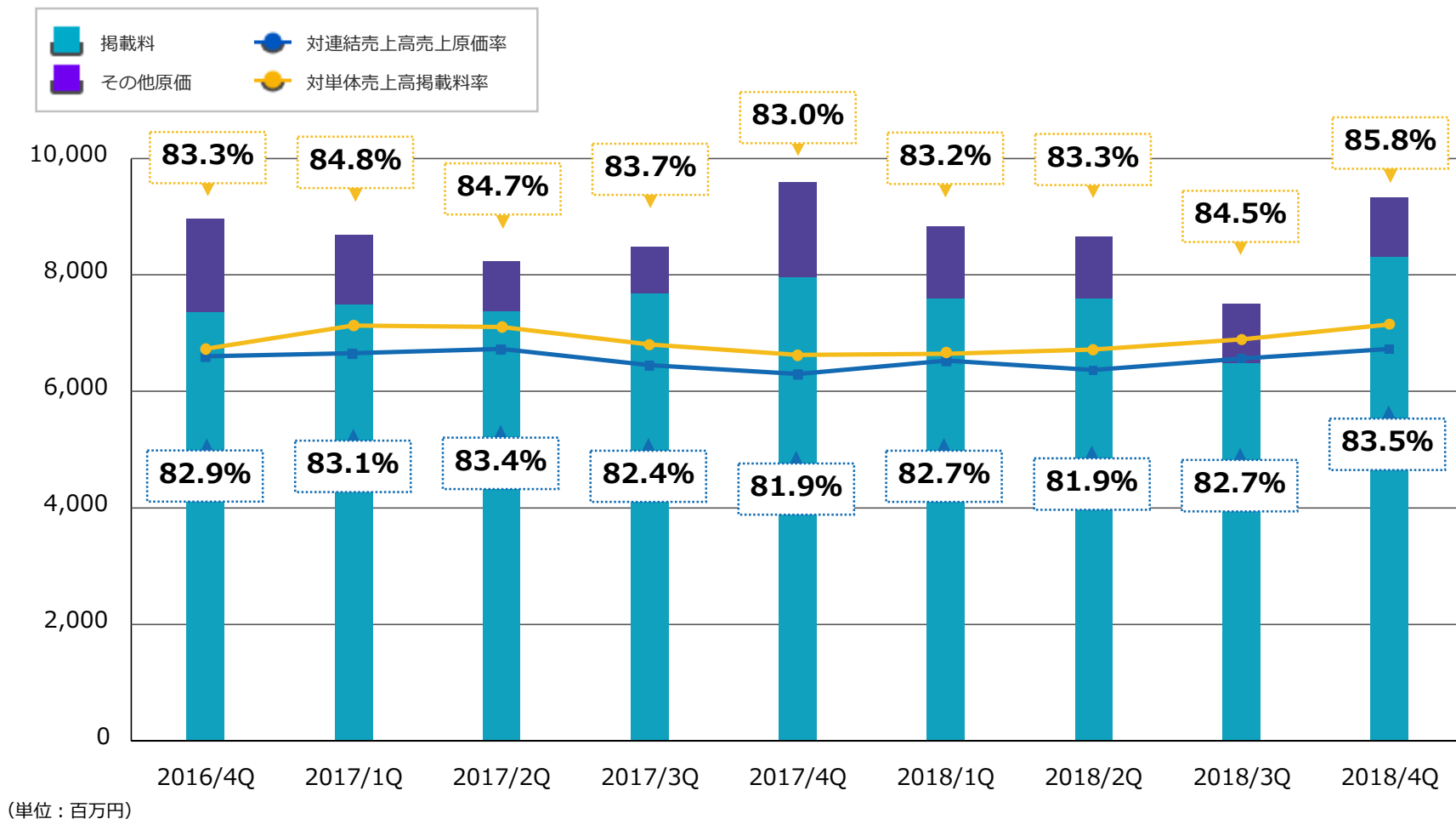
5. 補足資料

連結売上高 四半期推移



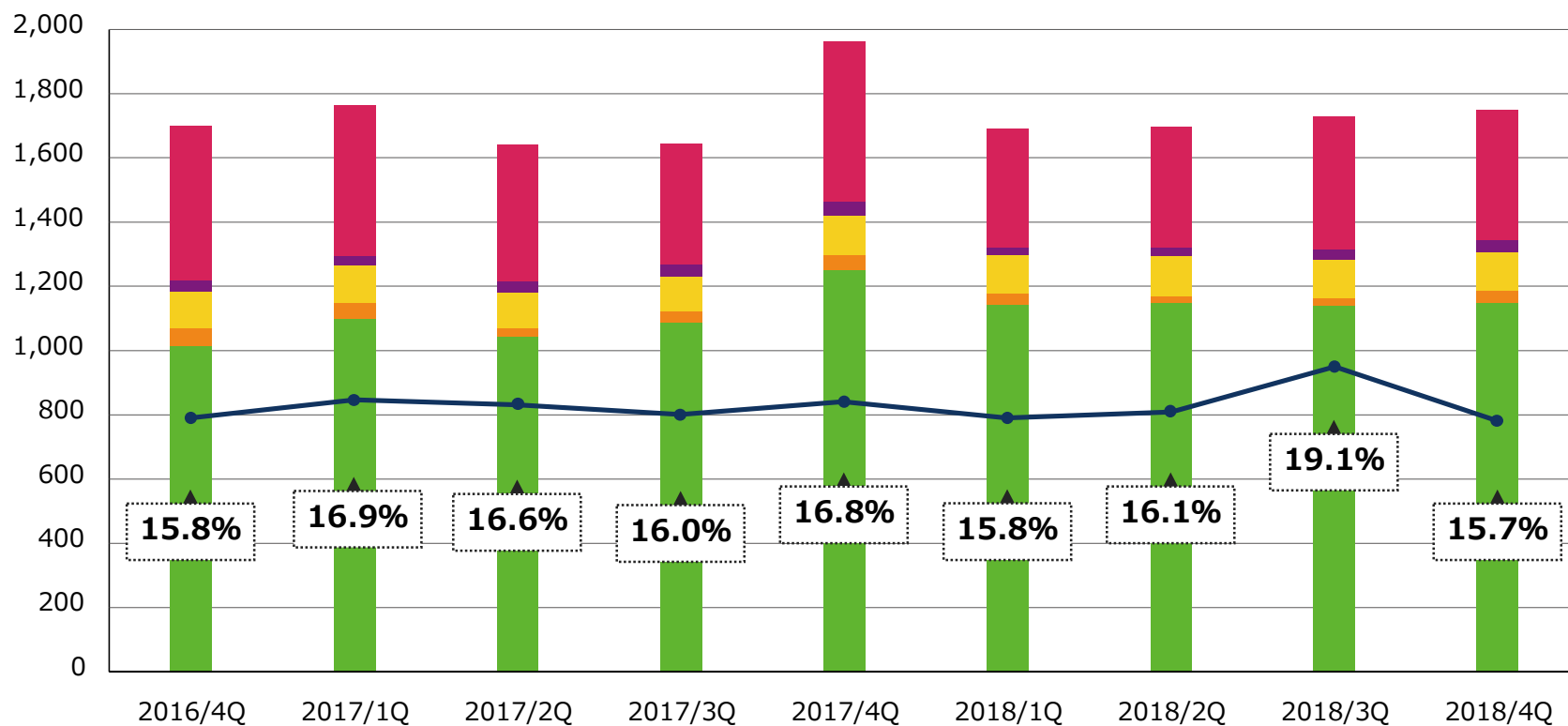
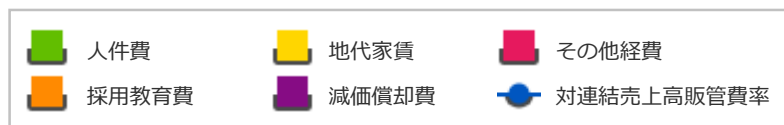
5. 補足資料

連結売上原価 四半期推移



5. 補足資料

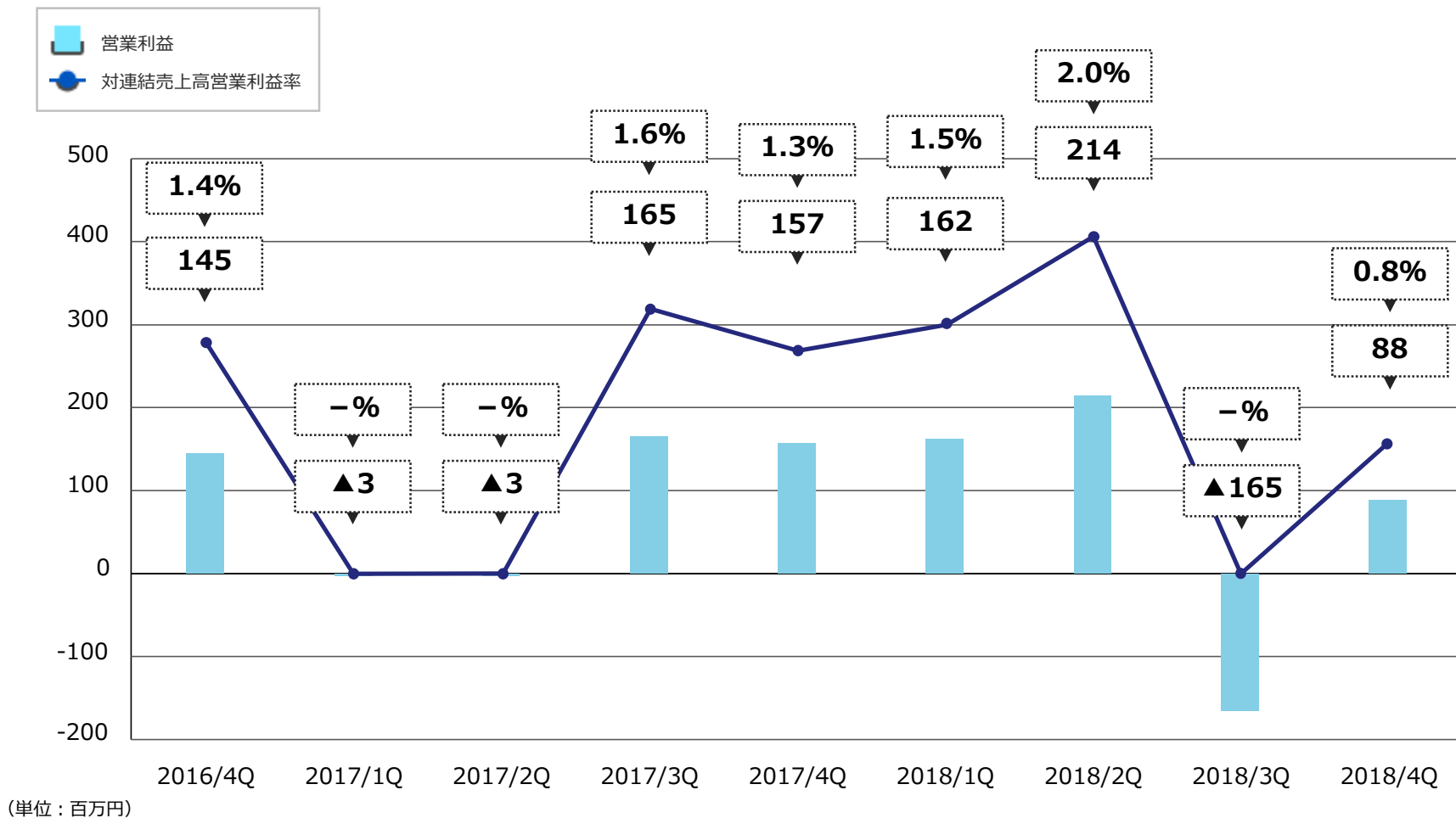
連結販管費 四半期推移



(単位: 百万円)

5. 補足資料

連結営業利益 四半期推移



5. 補足資料

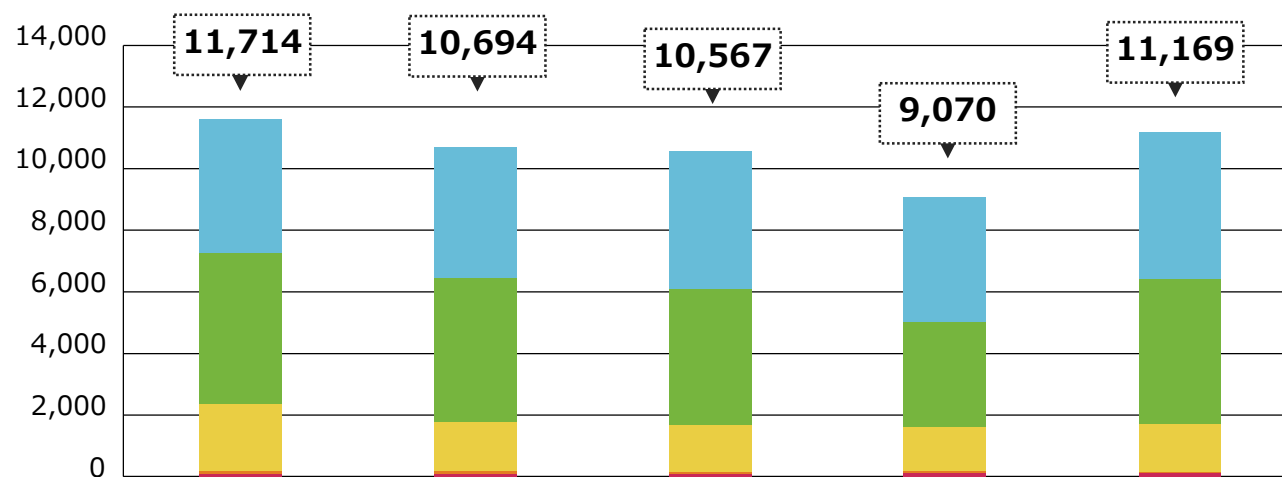
連結貸借対照表（前四半期比）

（単位：百万円）

	2018年3月期4Q	2018年3月期3Q	増減額	増減率
流動資産	15,215	14,341	+874	+6.1%
（現預金）	9,491	9,016	+474	+5.3%
固定資産	2,706	2,695	+11	+0.4%
総資産合計	17,921	17,036	+885	+5.2%
流動負債	6,731	6,126	+604	+9.9%
固定負債	167	159	+8	+5.3%
負債合計	6,899	6,285	+613	+9.8%
純資産合計	11,022	10,750	+271	+2.5%

5. 補足資料

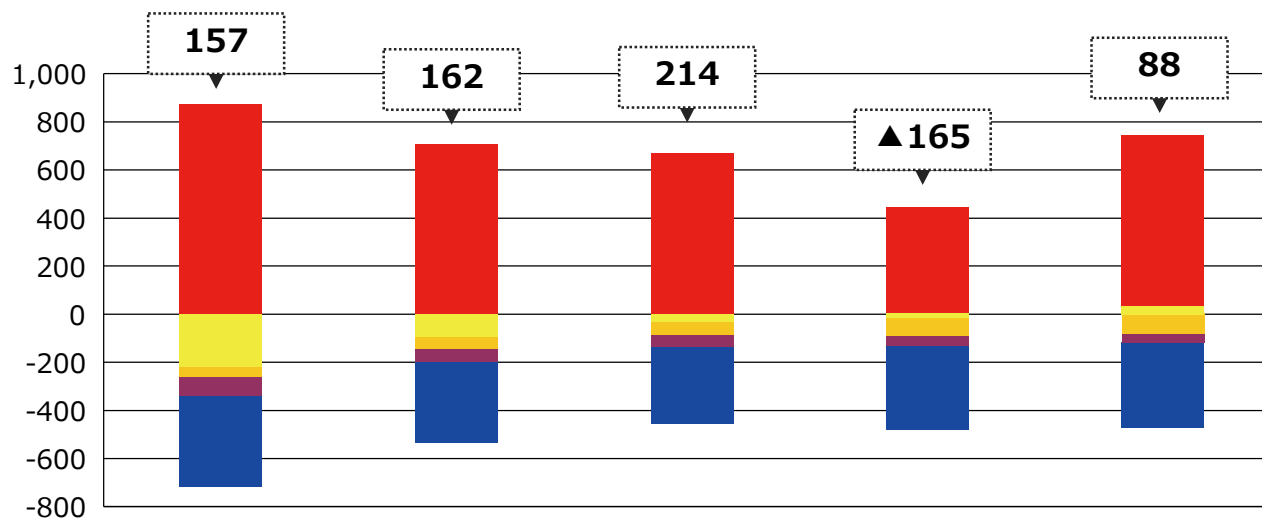
セグメント内識別連結売上高構成比 四半期推移



	2017/4Q	2018/1Q	2018/2Q	2018/3Q	2018/4Q	前四半期比	
スマートフォン	4,442	4,231	4,482	4,032	4,739	+706	+17.5%
インターネット	4,911	4,663	4,420	3,407	4,706	+1,298	+38.1%
海外	2,151	1,617	1,498	1,449	1,551	+102	+7.0%
アプリ	107	68	54	50	47	▲2	▲5.3%
メディアその他	102	113	111	129	123	▲5	▲4.5%
合計	11,714	10,694	10,567	9,070	11,169	+2,098	+23.1%

5. 補足資料

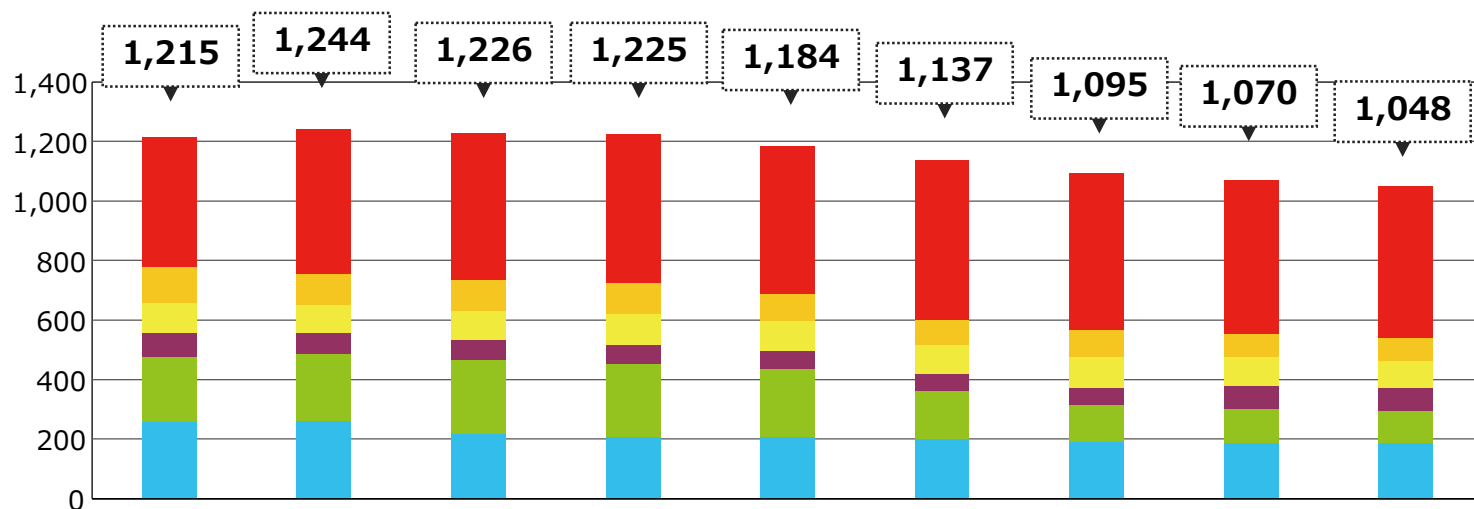
セグメント内識別連結営業利益構成比 四半期推移



	2017/4Q	2018/1Q	2018/2Q	2018/3Q	2018/4Q	前四半期比	
増減額	増減率						
■ 広告	875	699	664	307	531	+224	+73.2%
■ 海外	▲228	▲101	▲35	▲22	29	+51	—
■ アプリ	▲31	▲40	▲45	▲71	▲83	▲12	—
■ メディアその他	▲82	▲52	▲53	▲44	▲38	+6	—
■ 消去又は全社	▲375	▲343	▲314	▲334	▲350	▲16	—
合計	157	162	214	▲165	88	+254	—

5. 補足資料

当社グループの従業員数 四半期推移



(単位: 名)

	2016/4Q	2017/1Q	2017/2Q	2017/3Q	2017/4Q	2018/1Q	2018/2Q	2018/3Q	2018/4Q
日本アドウェイズ	436	489	492	499	496	536	527	516	509
中国アドウェイズ	122	103	103	104	92	86	91	77	73
中国開発センター	101	96	97	105	100	98	104	99	92
国内子会社	79	69	67	65	60	57	58	76	79
海外子会社 (中国以外)	218	226	251	244	229	161	122	113	106
派遣/アルバイト等	259	261	216	208	207	199	193	189	189
合計	1,215	1,244	1,226	1,225	1,184	1,137	1,095	1,070	1,048

会社概要

会社名	株式会社アドウェイズ（英名： Adways Inc. ）	
設立年月日	2001年2月28日	
事業概要	インターネット関連事業	
代表者氏名	岡村 陽久	
資本金	1,605 百万円	[2018年3月末日現在]
売上高	41,501 百万円	[2018年3月期連結]
従業員数 ※臨時雇用者含む	1,048 名（グループ全体）	[2018年3月末日現在]